

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年7月30日

1. 活動テーマ

<テーマ>

0歳児…葉っぱに触れて感じてみよう

<テーマ設定理由>

・桜の葉、レモンの葉など色々な木の葉に触れてきた。掴みやすい樺の葉を用意して、葉っぱを使って、容器に入れたり、水を入れて浮かばせる様子を見て感じられるようにした。

2.活動スケジュール

・1グループ4名

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定



4.探究活動の実践

<活動内容>

・樺の葉を枝から取ったものと乾かした葉をそれぞれのトレーに置いて見せると、目で追ったり、保育士の側に来て触れてみる。
 ・保育士が葉に触れて揺らしたり、手の平に乗せて見せながら、触れてみようとする環境を作った。
 ・葉を持って指を動かして、葉の表面を触っていた。
 ・子どもの探索の様子で容器を用意すると、葉をちぎって入れたり、一枚一枚中に入れてみる。
 ・仕草を見て何をしているのか言葉にして子どもの思いを汲み取り、やりとりしてみる。
 ・水槽の中に葉っぱを一枚ずつ穴に入れてみようとするがうまく入らず繰り返していた。容器の中にたくさん葉っぱを入れて、一度に水槽の中に入れてみたいと思う子もいた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>

		<ul style="list-style-type: none"> ・「なにがあるのか」と側に近づいて見る。葉に手を伸ばして触ってみたり、保育士が葉を揺らしている様子を見る。 ・両手で葉を持ち、葉のつるつるした面を親指で上下に動かして指で触る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が葉を集めて上から落とすと、葉が舞い降りてくる様子を目で追いついて両手を広げて真似をする。 ・保育士が手の平に湯いた葉を乗せて「ふー」と息を吹きかけると、葉が飛んでいく様子を喜び、一緒に「ふー」とする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・足に「葉っぱがついてる」と嬉しそうに教える。 ・ちぎった葉を容器の中に入れてみると匂いを感じて、顔を容器に近づけ「匂いがする」と言う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が水槽の蓋の穴に葉を入れると、真似てやってみようとする。 ・水を入れている様子を水槽の上から覗き込み、水の上に浮かんだ葉をとってみようとする。

5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・前は「葉に触れて楽しむ」を経験し、遊びの一部に葉を取り入れていた。戸外で這い這いしていると、桜の木の下に葉に気づき、手を伸ばして枝についている葉に手を伸ばして揺らしている姿や葉を両手で持って指先で確かめながら握る姿も見られた。
 ・今回は、葉の感触を感じながら普通の遊びで楽しもうと思っていた。しかし、実際に進めながら子どもの様子を見てみると、葉を両手で握って見る、持つだけで真剣な表情を見せていた。容器などを出したが反対に葉だけの活動がじっくりと見て感じられると振り返り、遊びとすくわくの活動は違うと実感する。
 ・近くにいた1歳児も「何をしているのかな」と側に来て参加した。昨年0歳児で「葉っぱ」のすくわくを経験し、葉に触れることができなかった子が今回は「足に葉がついた」と嬉しそうに言っていたので、0歳児での経験が、つながっているのだと感じた。0歳児のすくわくは、色々な物を取り入れず、材料はシンプルにし、一つの素材を通して子どもの視線、言葉にならない表情を受け止め、保育士とやりとりが大切と全体での振り返りで気づいた。今後も子どもにとって安心できる環境と楽しいと感じられる環境を心がけてすくわく活動をしていこうと思う。